

# 主な議案

(議案第60号・61号)

小城市職員の修学部分休業に関する条例・小城市職員の自己啓発等休業に関する条例

地方公務員法に基づき職員が公務に関する能力の向上に資するため大学等に修学する場合や、大学等課程履修または国際貢献活動を行う場合に、期間を定めて休業扱いとするための条例が制定された。

(議案第62号)

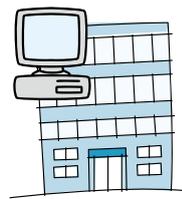
小城市職員の配偶者同行休業に関する条例

地方公務員法に基づき職員の配偶者が外国に赴任する際、同行する場合に期間を定めて休業扱いできる条例が制定された。



# 主な事業

## 総務・市民



### LED防犯灯設置補助事業

194万円

夜間における犯罪発生の防止及び地域住民の通行の安全、二酸化炭素の排出量と消費電力の抑止に向け、各行政区が設置するLED防犯灯の経費の一部を補助する。

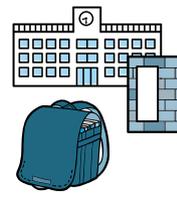
当初予算200万円の範囲の中で、67地区各3灯以内で調整してきたが、4灯以上の申請もあり、補正し214灯分を予算化。

### 天山区共同環境組合事業(建設)

8,236万円

可燃ごみ焼却施設が、小城市と多久市で共同してすめられている。処理施設の周辺整備のために、平等割20%、人口割80%として、小城市65・32%、多久市34・68%と率が決まった。この割合で、小城市の負担は、8,239万円。

## 教育・文化・福祉



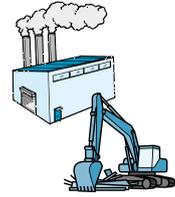
### 小城市明治維新150年記念事業

240万円

明治維新150年を契機に、小城市の偉業・偉人の顕彰の取り組みや先人たちの「志」を未来につなぎ、ふるさと小城市への愛着や誇りの醸成を図る。県の事業負担割合52/3の「明治維新150年記念さが維新交付金」を活用して、展示会、講演会、案内表示板設置、資料集の刊行、映像資料の制作などを行う。平成30年度までの事業で、29年度は

- 小城市鍋島400年シンポジウム
- 歴史資料館、中林梧竹記念館での「小城市の新陰流」中林梧竹書の展示会
- 志士「祇園太郎」関連資料の活性化原稿作成
- 小城市内中学生からなる「小城市維新探検隊」の調査成果の映像制作を行う。

## 産業・建設



### 農地及び農業用施設災害復旧費

2,571万円

平成29年7月6(9)日の梅雨前線豪雨によって被災した農地(田)、農業用施設(道路・水路)を原形復旧する。

業用施設(道路・水路)を原形復旧する。



▲平成29年7月の災害現場

### スマートインターチェンジ整備事業

3,375万円

小城市内に位置する長崎自動車道小城市パーキングエリアにスマートインターチェンジを整備し、高速交通体系整備を促進させ、小城市の産業振興をはじめとして、災害時の広域支援体制の向上など地域の活性化を図る。

### 社会資本整備総合交付金事業(橋りょう補修)

1,650万円

小城市が管理する橋りょうは319橋ある。現在劣化が進み通行規制等一般車輛の往来にも支障をきたしている橋りょうもあることから、橋りょう長寿命化計画にもとずき修繕を行うものである。補正内容は小城市松本の松本橋と二瀬川橋の劣化の進行が著しいため、前倒しで補修するもの。



▲橋りょう補修予定の松本橋